

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 子ども家庭支援の 心理学 ナンバリング：2203	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：加藤達矢 担当形態：単独
系 列	保育の対象の理解に関する科目		
教科目	子ども家庭支援の心理学		
授業の到達目標及びテーマ 1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期体験の重要性、各時期の移行、発達課題等について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる社会の状況と課題を理解し、現代の子どもの精神保健と課題を知る。			
授業の概要 生涯発達についての理解を深め、家族・家庭の意義や現代社会の動向などを学ぶと共に、子どもの心の問題について学習する。			
授業計画 第1回：生涯発達について 第2回：乳幼児期から学童期前期までの発達 第3回：学童期後期 から青年期までの発達 第4回：成人期・老年期までの発達 第5回：家族・家庭の意義と機能 第6回：親子関係・家族関係の理解 第7回：子育ての経験と親としての育ち 第8回：子育て家庭に関する現状と課題 第9回：子育てを取り巻く 社会的状況 第10回：ライフコースと仕事・子育て 第11回：多様な家庭とその理解 第12回：特別な配慮を要する家庭（養育者のメンタルヘルス） 第13回：子どもの生活・生育歴とその影響 第14回：子どもの心の健康にかかわる問題（精神疾患） 第15回：子どもの心の健康にかかわる問題（発達障害、他） 定期試験：筆記		授業時間外の学習 ・授業前に教科書、参考文献等をもとに学習し、関心のある点、疑問点を整理しておく。疑問点については、調べておく。 ・授業後は参考文献等により関心のあるテーマについての理解をさらに深め、学習した内容についてまとめておく。 ・授業前後には、合わせて1時間程度の自主学習を要する。	
授業の方法 講義・グループ演習やワーク。単元ごとの小レポートにコメントを入れて返却する。			
テキスト 『子ども家庭支援の心理学』 本郷一夫・神谷哲司 編集 建帛社			
参考書・参考資料等 授業内で紹介する。			
学生に対する評価 授業態度（20%）、小レポート（30%）、定期試験（50%）			
履修上の注意 受講にあたっては、教科書、参考文献等を参考に事前事後の学習を行い、グループでの演習には積極的に取り組むこと。			
実務経験の有無	有	実務経験	精神科クリニック勤務（臨床心理士、公認心理師）
実務経験を活かした教育内容 精神科クリニック勤務の経験を活かして、実践的な講義を行う。			